

植物多様性センターの「樹皮の表情」

樹木の幹を観察すると「落枝痕」という模様をみることができ
ます。樹木は日当たりが悪くなった不要な枝を自分で落とす
「自己剪定」を行います。その枝を落とした痕が落枝痕とな
ります。落枝痕は樹種や生育状況等で様々な表情になります。
高い場所や園路から離れた樹を観察する際には望遠鏡があ
ると便利です。情報館で双眼鏡の貸し出しも行っておりますの
で、お持ちでない方は是非ご利用ください。



モクレン科の落枝痕は目玉模様
になりやすい。



樹種によっては、枝が落ちた円
状の痕がそのまま長く残る。



広葉樹は落枝痕が横線状に残
る樹種が多い。



針葉樹は落枝痕が縦に伸びる
樹種が多い。